


## 2. 指導者用参考資料

### (1) 外国人児童生徒のための日本語指導

外国人児童生徒のための日本語指導	編集	東京外国語大学留学生センター
	出版社	ぎょうせい
	レベル	
	サイズ・頁	A4判・138頁
	対象	外国人児童生徒 帰国児童生徒
	母語対応	
	関連教材等	2、算数(数学)・理科・語彙と漢字 3、中国語版文法説明 4、ポルトガル語版文法説明
	価格	2,000円+税

#### (内容)

- 1章 外国人児童生徒を取り巻く教育の現状と課題
- 2章 外国人児童生徒に対する日本語指導のあり方
- 3章 小学校用日本語指導カリキュラム・ガイドライン 適応場面を利用して
- 4章 小学校高学年・中学校用日本語指導カリキュラムー教科学習のためにー
- 5章 日本語力評価方法試案



＜第2分冊＞算数(数学)・理科の教科書・語彙と漢字

第1章 教科書の語彙調査

第2章 教科書の漢字調査

第3章 漢字指導の方法 教育漢字(1600字)漢字指導モデル案  
A4判 148頁 2,100円(税込)



＜第3分冊＞中国語版 文法説明

第1章 小学校高学年・中学校用文法構造シラバス

第2章 文法説明(日本語版)

第3章 文法説明(中国語版)

A4判 111頁 1,890円(税込)



＜第4分冊＞ポルトガル語版 文法説明

第1章 小学校高学年・中学校用文法構造シラバス

第2章 文法説明(日本語版)


第3章 文法説明(ポルトガル語版)

A4判 175頁 2,310円(税込み)

#### (評)

日本語教育を体系的にまとめたガイドラインと評価方法は指導の参考になる。

(2) 「学校教育における JSL カリキュラムの開発について」 対応  
外国人児童の「教科と日本語」シリーズ

外国人児童の「教科と日本語」 小学校「JSL 国語科」の授業作り	著者	JSL カリキュラム研究会 今澤 悌 齋藤ひろみ 池上摩希子
	出版社	スリーエーネットワーク
	レベル	
	サイズ・頁	B5判・158頁
	対象	外国人児童生徒 帰国児童生徒
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	1,800円+税

(内容)

「学校における JSL カリキュラム」(文部科学省)を最大限に活用するための参考書。小学校に通う外国人児童生徒が授業に参加し、学ぶ力を育てるための授業作りのアイデアとリソース。

第1章 JSL カリキュラムの基本的な考え方

第2章 教科志向型 JSL カリキュラム「国語科」の授業作り

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. みんなに知らせたいこと  | 11. せつ明書を作ろう |
| 2. わたしはなんでしょ    | 12. 生活を見つめて  |
| 3. 道あん内をしよう     | 13. 三年とうげ    |
| 4. 伝言はまちがえずに    | 14. 白いぼうし    |
| 5. 名前をつけよう      | 15. やまなし     |
| 6. てがみをかこう      | 16. じどう車くらべ  |
| 7. 見たこと 感じたこと   | 17. たんぽぽのちえ  |
| 8. しらせたいな、見せたいな | 18. ありの行列    |
| 9. 言葉の研究レポート    | 19. わらぐつの神様  |
| 10. おもしろいもの見つけた | 20. 大きなかぶ    |

第3章 「JSL 国語科」活動例—授業作りのリソースとして—



<小学校「JSL 社会科」の授業作り>

第1章 JSL カリキュラムの基本的な考え方

第2章 教科志向型 JSL カリキュラム「社会科」の授業作り

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 学校のまわり | 11. 日本の地形と気候 |
|-----------|--------------|

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 2. わたしたちの市   | 12. 主な漁港の漁業生産額    |
| 3. はたらく人びと   | 13. 自動車をつくるひみつ    |
| 4. やさいはどこから？ | 14. 雪国の暮らし        |
| 5. ごみはどうなる？  | 15. 情報を入力する方法     |
| 6. 火事がおきたら？  | 16. 昔の日本、今の日本     |
| 7. わたしたちの安全  | 17. 奈良の大仏         |
| 8. しょう水場に行こう | 18. 信長・秀吉・家康の全国統一 |
| 9. 昔の暮らし     | 19. 力を強める江戸幕府     |
| 10. わたしたちの県  | 20. わたしたちの生活と公共施設 |

第3章「JSL 社会科」活動例 —授業作りのリソースとして—

B5判 150頁 1,890円(税込)



<「JSL 算数科」の授業作り>

第1章 JSL カリキュラムの基本的な考え方

第2章 教科志向型 JSL カリキュラム「算数科」の授業作り

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 10までの加法  | 11. 面積の求め方(1)   |
| 2. 広さくらべ    | 12. まるい形        |
| 3. 図形の基礎    | 13. 折れ線グラフ      |
| 4. 大きな数     | 14. 小数の表し方      |
| 5. 長さ       | 15. 面積の求め方(2)   |
| 6. 三角形と四角形  | 16. 百分率と割合      |
| 7. 余りのある割り算 | 17. 異分母分数の加法と減法 |
| 8. 水のかさ     | 18. 単位量あたりの大きさ  |
| 9. 棒グラフと表   | 19. 立体図形        |
| 10. 計算の約束   | 20. 比           |

第3章 JSL 算数科の活動例 —授業作りのリソースとして—

B5判 136頁 1,890円(税込)



<小学校「JSL 理科」の授業作り>

第1章 JSL カリキュラムの基本的な考え方

第2章 教科志向型 JSL カリキュラム「理科」の授業作り

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 植物の育ち方    | 11. 電池のはたらき  |
| 2. 昆虫の体      | 12. もののかさと湿気 |
| 3. 季節と植物の成長  | 13. おもり      |
| 4. 昆虫の暮らしと季節 | 14. ものの溶け方   |
| 5. 植物の発芽と成長  | 15. 燃え方と空気   |

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 6. 人の誕生      | 16. 電流のはたらき   |
| 7. 植物の体のはたらき | 17. 太陽と地面のようす |
| 8. 動物の体のはたらき | 18. 月の動き      |
| 9. 光の進み方     | 19. 天気の変化     |
| 10. 磁石につく物   | 20. 大地のつくりと変化 |

第3章 JSL 理科の活動例 –授業作りのリソースとして–  
B5判 129頁 1,890円(税込)



<小学校 JSL カリキュラム「解説」>

第1章 本書の概要

第2章 子どもたちはどのように学ぶのか

第3章 学びの場はどう創られるのか JSL カリキュラム Q&A

第4章 JSL の授業をどう作るのか 実践例の紹介

B5判 173頁 1,575円(税込)

(評)

外国人児童生徒の日本語教育において、生活場面での日常会話レベルの日本語はできるようになっても教室での学習には参加できないことが問題になっている。この問題への対応として文部科学省が開発した JSL カリキュラムは「トピック型」と「教科志向型」の2つのタイプの授業作りを提案している。マンツウマンによる取り出し指導を行なっている学校が多いので、なかなか実践できないが、出来るところから取り入れ、学習活動に日本語で参加する力(学ぶ力)を高めたい。

### (3) 教えるためのことばの整理

日本語教育演習シリーズ① 教えるためのことばの整理 Vol. 1	著者	丸山敬介 京都日本語教育センター
	出版社	凡人社
	レベル	
	サイズ・頁	B5判・196頁
	対象	日本語教師
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,300円+税

(内容)

将来、日本語教師を目指そうという人、現在外国人に日本語を教えているけれども、今一度教える項目を整理したい人、外国人で日本語の基礎的知識を得たい人等を対象に日本語教育の現場で教えられている基本的な事柄について、自ら検討を加え学ぶことを目的としている。

I. かなと発音            II. 動詞の種類と名称

III. 形容詞・形容動詞    IV, 助詞の働き



<教えるためのことばの整理 vol. 2>

V. 希望、願望の表現、可能の表現 1・2

VI. 時を表す表現 1・2・3・4・5・6・7

VII. 人と人との関係を表す表現 1・2・3


VIII. 条件を表す表現 1・2

B5判 169頁 1,995円(税込)

(評)

さまざまな日本語表現を体系的に整理しており、書き込み式の演習ノートで自己分析することができる。

(4) 基礎表現とその教え方

基礎表現50とその教え方	著者	富田隆行
	出版社	凡人社
	レベル	初級
	サイズ・頁	A5判・291頁
	対象	日本語教師
	母語対応	
	関連教材等	続・基礎表現50とその教え方
	価格	2,500円+税

(内容)

初級レベルで扱う表現(語彙・文型等)のなかから指導上留意すべき50項目を選び、その意味・用法・指導法等について述べている。

主な表現項目は、指示語、存在、場所、形容詞の接続、動詞の接続、助数詞、可能、伝聞、受給、受身、使役等



＜続・基礎表現50とその教え方＞

中級レベルの表現50を取り上げ、その表現について、各章を「意味・用法」「用例文」「指導上の留意点」「関連事項」の構成でまとめている。

主な表現項目は、形式名詞「うえ」の用法、「うちで」と「なかで」、「～おきに」と「～ごとに」、「～がたい」と「～にくい」等  
A5判・308頁 2,940円（税込）

（評）

日本人として、普段何気なく使っている表現について、使い方や違い等を詳しく説明しているので、指導の前に確認のために一読しておくといよい。

（5）日本語授業おもしろネタ集

日本語授業おもしろネタ集	著者	池上摩希子 大蔵守久
	出版社	凡人社
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・112頁
	対象	外国人児童生徒 帰国児童生徒
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	1,000円+税

（内容）

子どもに日本語を教える際に役立つ36のアイデアを収録。工夫次第で導入にも定着にも使用可能。

＜スムーズに運ぶコツ＞

- ①学習目標や目標言語項目は明かしても、最初からネタは明かさない。
- ②興味を引きそうな小道具は使う段までしまっておいて、必ず小出しにする。
- ③先生は子どもに「問いかけ」をし、子どもの「答え／反応」を待ってから、次の「答え／問いかけ」に移る。
- ④練習として一度、先生がやってみせる。

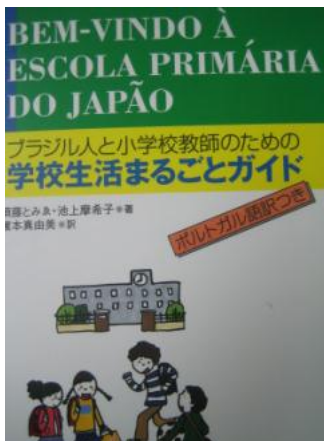
＜続編 おもしろネタ集2＞は公募した「子ネタ」から選りすぐりの23作品を掲載。監修者による「子ネタ」作成の秘訣やQ&Aのほか、実際に「子ネタ」で授業をする際に使える便利なイラスト集付き。

A5判・116頁 1,155円(税込)

(評)

各項目ごとに導入に使う(●)、定着に使う(▲)かが示されていて、効果的に使うにはどうしたらよいかを詳しく説明している。たのしい活動がたくさん収録されている。

### (6) 外国人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド

ブラジル人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド	著者	須藤とみ彖 池上摩希子
	出版社	スリーエーネットワーク
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・201頁
	対象	ブラジル人児童 ブラジル人保護者 小学校教師
	母語対応	ポルトガル語
	関連教材等	
	価格	1,500円+税

(内容)


ブラジル・ポルトガル語圏の子どもが日本の小学校に通うためには、またブラジル語圏の子どもを小学校に受入れるにはどうしたらよいかなど、親と先生双方にとって必要な詳細情報を具体的に紹介している。

1. 日本の学校制度
2. 小学校に通うためには
3. 小学校の一年
4. 小学校の一日
5. 各種手続き
6. 参考資料(個人調査票、就学申請書、成績表、書籍、関連団体等)

日本語とポルトガル語の対訳で構成され、家庭訪問や健康診断などの配布文書の説明や文例も資料として盛り込まれている。さらに、書類の書き込み、お知らせのやりとりなどを題材とした日本語学習のヒントも収録されており、単に学校ガイドにとどまらず、実用性も高い。

(評)

日本の学校制度からお知らせプリントにいたるまで具体的に日本の小学校の様子を伝え、不安や疑問を軽減し、有意義な学校生活が送れるように配慮している。こうした情報提供は公的機関である行政がやらなければならないのではないかと思う。

中国人と小学校教師のための学校生活まるごとガイド	著者	須藤とみ彖 徐前 池上摩希子
	出版社	スリーエーネットワーク
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・199頁
	対象	中国人児童 中国人保護者 小学校教師
	母語対応	中国語
	関連教材等	
	価格	1,500円+税
<p>(内容)</p> <p>中国語圏（簡体字）向けの編入ガイドブックである。既刊のブラジル語圏向けの内容に、日本語学習のヒント、巻末の「参考資料」のリストが加えられている。</p>		

#### (7) 日本語の教え方 スーパーキット

日本語の教え方 スーパーキット	監修	水谷信子
	出版社	凡人社
	レベル	初級 (とくに入門～初級前半)
	サイズ・頁	
	対象	外国人児童生徒 帰国児童生徒
	母語対応	
	関連教材等	初級クラス必須の教材・教具 文字数字
	価格	13,440円(税込)
<p>(内容)</p> <p>初級の必携教材がパッケージされた「日本語教師のための道具箱」。 文字の導入・練習用の教材、入門から初級前半の教材・教具がそろえてある。 ①動詞活用表・形容詞活用表 ②カードスタンド ③教え方チャート④かなカード・数字カード ⑤日本地図 ⑥カレンダー ⑦絵カード ⑧絵シート ⑨シチュエーションかるた ⑩ひらがな・カタカナ・漢字練習用シート ⑪時計板 ⑫教え方クイックカード</p>		





＜スーパーキット2 新選素材＞

導入や練習、アクティビティ等、いろいろな目的に応じて指導者が自由に選んで使える便利素材。特に、初級の文型指導に役立つ素材が多数盛り込まれている。

- ①絵カード ②絵シート ③多目的絵カード ④文字絵カード ⑤絵素材パレット ⑥動詞フラッシュカード ⑦人物、動物カード ⑧オリジナルレアリア ⑨文型練習マップ（タウン編・ルーム編） ⑩ストーリーシート ⑪練習用シート（短文編・漢字発展編） ⑫効果音 CD



＜スーパーキット3 にほんごの時間＞

学校生活で役立つような語彙や身近な場面を中心に切り上げ、各教材にかわいいイラストや写真を多用して、子どもたちが興味をもって学べるように工夫している。

- ①絵カード ②文字カード ③日本の学校生活すごろく ④日本の遊び ⑤日本の子どもの歌 ⑥宅配ピザメニュー ⑦動詞・形容詞活用表 ⑧あいさつ表 ⑨日本の風景ポスター（富士山） ⑩日本の風景ポスター（都市と地方） ⑪学習者用練習帳 ⑫教師用素材集 ⑬教師用指導書

（評）

日本語指導に使われる教材・教具がセットされていて、便利である。児童生徒の実態に合わせて選び、さらに工夫して使うとよい。

（8）就学ガイドブック

就学ガイドブック	著者	文部科学省
	出版社	
	レベル	
	サイズ・頁	
	対象	外国人児童生徒 保護者
	母語対応	英語、韓国・朝鮮語、中国語 ヴェトナム語、フィリピン語 ポルトガル語、スペイン語
	関連教材等	
	価格	非売品

（内容）

＜日本の学校への入学手続き＞

1. 我が国の学校教育について  
（1）学校教育制度


- ①学校教育制度
  - ・日本の学校系統図　・就学前教育について　・義務教育について
- ②教育内容
  - ・教育課程　・学習教科について　・教科書について　・進級、進学について
  - ・就学援助について
  - (2) 公立学校教員
- 2. 就学手続き
  - (1) 小・中学校に入学（編入学）するための手続き
- ①役所での手続き
- ②学校での手続き
- ③学校での手続きに必要な事項
  - (2) 国内での転校に際しての手続き
- 3. 学校生活について
  - (1) 学校の日
    - ・給食時間　・清掃時間　・部活動
  - (2) 学校の一年
    - 1学期・・・始業式、入学式、身体測定・定期健康診断、修学旅行、遠足  
授業参観・学級懇談会、終業式、夏休み
    - 2学期・・・始業式、運動会・体育祭、音楽・演劇鑑賞会、学芸会・文化祭  
終業式、冬休み
    - 3学期・・・始業式、卒業式、修了式、春休み
    - ・国民の祝日
  - (3) 評価
  - (4) きまり・規則
  - (5) 健康と安全
    - ・保健室
    - ・定期健康診断
    - ・予防接種
    - ・独立行政法人日本スポーツ振興センター
  - (6) 学校と家庭の連携
- 4. 教育相談について
  - (1) 学校の教育相談
- ①家庭訪問
- ②保護者会
- ③個人面談
  - (2) 学校以外の教育相談機関

- ・市町村・都道府県の教育相談機関
- ・就学援助に関する相談

(評)

日本の学校に入学（編入学）するためのガイドブックとして、文部科学省のホームページからダウンロードして使うことができる。

### (9) 学校からのおたより

	学校からのおたより	著者	財団法人
		出版社	ちば国際コンベンションビューロー
		レベル	
		サイズ・頁	A4判・52頁
		対象	外国人児童生徒 外国人保護者
		母語対応	英語、中国語、ポルトガル語 韓国・朝鮮語、スペイン語 タイ語
		関連教材等	
		価格	非売品

(内容)

日本語を母語としない児童生徒の受け入れ校において、学校と、日本語での意思疎通が十分でないその保護者との相互理解を助けるために作成された。

<学校ガイド>

学校教育制度、教育内容、学校の日、学校の一年、教育相談

<学校連絡文>

就学時健康診断、入学式、児童家庭調査票、健康調査票、定期健康診断、尿検査、耳鼻咽喉科検診、定期健康診断結果、結核検診、家庭訪問、授業参観、学校公開日、個人面談、水泳学習、修学旅行、修学旅行積立金、遠足、運動会、進路説明会、卒業式、行事開催案内、学校諸経費の納入、集金、未納金、災害共済、奉仕作業、台風の対応、災害時引渡しカード、引渡し訓練

<ことば>

行事、場所、用具、学校生活、教科、曜日、月、時間


(評)

保護者の不安を軽減し、児童生徒が安心して日本の学校教育を受けることができるよう、また、担任との連絡がよりスムーズになるように、母語対応の文書例が示されている。ホームページからダウンロードして使用することもできる。


(10) HELLO CHIBA

HELLO CHIBA	著者	千葉県環境生活文化国際部
	出版社	(生活ガイド)
	レベル	
	サイズ・頁	A5判
	対象	千葉県に住む外国人
	母語対応	英語、韓国・朝鮮語 中国語 スペイン語 ポルトガル語
	関連教材等	
	価格	非売品
<p>(内容)</p> <p>国際交流の進展に伴い、在住する外国人は増えている。言語、習慣の異なる日本の暮らしは、外国人にとって大きな不安や生活上の不便があると思われる。千葉県は外国人が、快適な日常生活を送れるよう、日常生活に必要な知識や情報を記載した「ハローちば」を作成した。</p> <p>緊急事態、役所とのかかわり、結婚と家庭、健康管理、教育、労働、住宅、通信と交通機関、買物と銀行、文化、行政機関について、それぞれの母語の対訳付きで詳しく説明している。</p>		
<p>(評)</p> <p>外国人児童生徒・保護者が日常生活・学校生活について、予め読んでおくトラブル等も少なく、スムーズに適應していけると思う。</p>		


### (11) 日本語でボランティア

日本語でボランティア	著者	グループにほんごでボランティア
	出版社	スリーエーネットワーク
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・130頁
	対象	日本語ボランティア
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	998円(税込)
<p>(内容)</p> <p>ボランティアをはじめるにあたっての基礎知識(教え方・資料等)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外国語として日本語を教えるって?</li> <li>2. 外国人とのコミュニケーションとは?</li> <li>3. 教え方の形式にはどんなものがあるの?</li> <li>4. さあ、教えましょう。でも、どうやって?</li> <li>5. よりよいボランティア活動のために</li> </ol>		
<p>(評)</p> <p>これからボランティアで日本語を教えようと考えている人、現在すでにボランティアで日本語を教えている人を対象に書かれている。日本語ボランティアとしての経験からアドバイスしているので、一読するとよい。</p>		

## (12) 外国人児童生徒を教えるためのリライト教材

外国人児童生徒を教えるためのリライト教材	著者	光元聡江・岡本淑明
	出版社	ふくろう出版
	レベル	
	サイズ・頁	B5判・225頁
	対象	小中学校教員
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	1,500円+税
<p>(内容)</p> <p>小中学校教員のための指導用教材。国語教科書掲載作品17点を取り上げ、こどもたちの日本語力に合わせて指導できるよう3段階のレベル別にリライト。子どもたちの学習意欲にとって「表現は易しく、内容は相当学年レベル」であることが意義深い。音読譜として視覚的にも読みやすく工夫。さらに教材の自作方法や調整方法まで解説。漢字は総ルビ。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「リライト教材・音読譜」とはどんな教材か (「リライト教材・音読譜」の必要性；リライト教材とは ほか)</li> <li>2. 本書の教材の使い方 (各教材の構成；「リライト教材・音読譜」のレベル ほか)</li> <li>3. 「リライト教材・音読譜」の作成について (リライト教材の種類と作成方法；音読譜の作成方法)</li> <li>4. 「リライト教材・音読譜」による教材 小学校の教材(光村図書)・中学校の教材(光村図書)</li> </ol>		
<p>(評)</p> <p>日常会話はできるが授業についていけない児童生徒への支援方法として注目されている。レベルに合わせて作成し、少しでも学習に参加できるようにしたい。</p>		

### (13) 多文化共生の学校づくり

	編集	山脇 啓造 横浜市立いちちょう小学校
	出版社	明石書店
	レベル	
	サイズ・頁	A5・249頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,000円+税

#### (内容)

多文化、多国籍の子どもたちがあつまる横浜市立いちちょう小学校の授業、学校づくりの取り組みを教員、保護者、当事者が記録した。新しい多文化の学校づくりが子ども、保護者、地域に何をもたらすのか。

#### <構成>

第1部・・・多文化共生教育フォーラム in いちちょう小学校

「多文化共生フォーラム」について パネルディスカッションの記録

第2部・・・多文化共生の学校運営

1. 学校経営の視点
2. 全職員による協力指導体制
3. 国際教室の運営

第3部・・・多文化共生の授業づくり

1. 授業実践
2. 学校と大学の連携


第4部・・・学校・家庭・地域の連携

1. 多文化 PTA の誕生
2. 学校と自治会の連携
3. 学校とボランティアの連携
4. 4校連絡会一学校間の連携
5. 学校と保育園の連携

#### (評)

外国籍児童の増加している今、全職員の協力指導体制、そして地域関係者・ボランティア団体・大学関係者・近隣の学校、幼稚園、保育園などと連携しての実践はこれからの学校の在り方を考える上で、とても参考になる。

#### (14) 身近なことから世界と私を考える授業

身近なことから世界と私を考える授業	編集	開発教育研究会
	出版社	明石書店
	レベル	
	サイズ・頁	B5判・120頁
	対象	小中学生
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	1,500円+税

#### (内容)

「100円ショップ」「コンビニ」「牛肉」「野宿者」という私たちに身近なテーマを取り上げ、日本社会の課題を考えるワークブック。日本社会の「南的」な課題を取り扱うことによって、構造的な理解を促す。私たちの足下、暮らしから考える開発教育。

#### <構成>

- 1 なんでも?! 100円ショップ・・・100円ショップから世界を考える
  1. 部屋の四隅「私と100円ショップ」
  2. バーベキューをしよう
  3. 買い物をする時の基準は?【パート1】
  4. 割り箸クイズ「100円ショップの秘密は?」
  5. 作ってみよう!
  6. 買い物をする時の基準は?【パート2】
  7. 私にできること
- 2 コンビニから考える私たちの暮らし・・・便利さの背景にあるもの
  1. 相互インタビュー「コンビニと私」
  2. クイズ「コンビニってどんな店?」
  3. お弁当注文ゲーム「コンビニ店長になってみよう」
  4. ロールプレイ「コンビニから見える人々の暮らし」
  5. フィールドスタディ「コンビニを訪ねよう」
  6. ディベート「コンビニの営業時間規制は必要?不要?」
  7. 学びから行動へ「コンビニとの付き合い方を考えよう」
3. いのちの食べ方を問う・・・食卓の牛肉から見える世界
  1. お肉はどこからやってくる?




2. ここにも牛がいる！？
  3. ロールプレイ「おじさんの悩みにこたえて」
  4. 世界牛肉紀行
  5. 牛肉が地球を食べる
4. 「ホームレス」ってどんなひと？・・・一緒に考えよう！野宿問題
1. ホームレスってどんなひと？
  2. 野宿生活者を取りまく社会～私たちのくらしと野宿生活者
  3. いま、私にできること

(評)

身近な課題を取り上げ、各教材は「アクティビティー」とよばれる学習活動で構成されている。参加型学習を通して関わりを学ぶことができる。

### (15) 高校を生きるニューカマー

高校を生きるニューカマー	編著者	志水 宏吉
	出版社	明石書店
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・328頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,500円+税

(内容)

ニューカマーの子どもたちの高校進学、その後の高校生活や大学進学などにつき、大阪における先進的な取り組みがサポート態勢などを含め、様々な角度から論じられる。そして8つの府立高校での特色ある教育実践が現場の教師の報告や生徒の生の声を併せて紹介されている。

<構成>

#### 第1部 インTRODクシヨン

第1章 ニューカマーと日本の学校

第2章 高校進学と入試

#### 第2部 大阪の教育


第3章 同和教育を土壌とする学校文化とニューカマー教育

第4章 連続するオールドカマー／ニューカマー教育

第5章 大阪府におけるニューカマーと高校入試

第6章 校内サポート体制
第7章 府立高校における日本語教育支援
第8章 子どもをつなぐ支援ネットワークづくり
第3部 生徒たちの素顔
第9章 「ちがい」からみえてくるもの
第10章 小・中学校から高校へ
第11章 人間関係を築く
第12章 「今—ここ」から描かれる将来
第4部 高校紹介
第13章 門真なみはや高校—普通科総合選択制におけるアイデンティティ—保障の取り組み
第14章 長吉高校—ちがいとちがいをつなぐ教育実践
第15章 八尾北高校—校舎の中心から多文化オアシスづくり
第16章 成美高校—「みんな成美の生徒」：学校全体で取り組む「内なる国際化」
第17章 布施北高校—礼に始まって礼に終わる：中国人の良いところを学んで欲しい
第18章 千里高校—外国人支援の伝統に根ざした新たな挑戦
第19章 平野高校—普通科の中のニューカマー
第20章 春日丘高校定時制課程—一人ひとりの「学校に通う意義」を支える
(評)
外国人の子どもたちの就学や学力・進路の実態を明らかにし、ニューカマー—教育に携わる人々の実践・高校に通う外国人生徒の気持ちなどを伝えている。

### (16) 外国からの子どもたちと共に

	外国からの子どもたちと共に	著者	井上 恵子
		出版社	本の泉社
		レベル	
		サイズ・頁	B5判・120頁
		対象	日本語指導者
		母語対応	
		関連教材等	
		価格	1,000円+税 改訂版 1,500円+税

(内容)

外国人児童生徒の受入・適応・日本語指導・教科指導に至るまで、ポイントを絞って、わかりやすく説明されたガイド。外国人児童生徒を受け入れるということはこれまでの学校文化なり、教室文化の在り方に少なからずの変化をもたらすことになる。こうした変化をポジティブに活用するための国際理解教育に基づく学校作りも視野に入れた提案がされている。

<構成>

受入・適応

1. 来日理由・日本での生活に対する意識
2. 現状と問題点
3. 受入手順・体制作り
4. 生活適応
5. 進学・就職
6. 補助者との連携
7. 資料（受入の手引・対訳等）

日本語指導

1. 日本語指導と国語指導の違い
2. 直接指導法と媒介語を使っでの指導法
3. 教える内容
4. カリキュラムの組み方
5. 楽しく「聞く・話す・読む・書く」を教えるには
6. 楽しく「音声」を教えるには
7. 楽しく「文字・表記」を教えるには
8. 楽しく「語彙」を教えるには
9. 楽しく「文法」を教えるには
10. 教科学習に向けて・JSLカリキュラムの活用
11. 日本語教室の整備
12. 補助者との連携
13. 教材（指導参考書・教具）

国際理解

○出会い

1. 学校として
2. 教師として
3. 迎える児童生徒として

○学校生活への適応・日常的な日本語習得の時期

1. 生活習慣や学校生活の違い

2. 学級で

3. 日本語の学習

○教科学習についていくための日本語習得の時期

1. 教材開発・カリキュラムの工夫

2. 国際交流

3. 母語学習

4. 補助者との連携

(評)

これから外国人児童生徒を受け入れることになる学校の教師や、今受け入れている学校に新しく赴任された教師に目を通してほしいと思う。

### (17) いちよう団地発 外国人の子どもたちの挑戦

外国人の子どもたちの挑戦	著者	清水睦美・すたんどばいみー
	出版社	岩波書店
	レベル	
	サイズ・頁	・202頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,000円+税

(内容)

神奈川県横浜市・大和市にまたがる「いちよう団地」への外国人の入居は、1980年代中頃から始まり、現在ではインドシナ難民の家族、中国帰国者の家族、中国帰国者の家族、さらに南米日系人と広がり、団地に暮らす外国人世帯は10%を超える。その地で活動する外国人の子どもたちの当事者団体「すたんどばいみー」の十年を彼ら自身が紹介する。


<構成>

I わたしたち[外国人]のいま

- 1 なぜ<いま・・・ここ>にいるのか？
- 2 外国人として生きていく
- 3 [中国人]として生きることを決めるまで
- 4 [私]を見つめる

<p>5 いまの私</p> <p>Ⅱ [すたんどばいみー]を問うこと、[日本]を問うこと</p> <p>1 すたんどばいみーの新規運営委員たち</p> <p>2 外国籍の女の子の生き方について考える</p> <p>3 何十年後のいちょう団地の外国人の働き口</p> <p>4 すたんどばいみーと出会わなければ</p> <p>Ⅲ 未来へ</p> <p>1 新たな“展開”と“可能性”に期待して</p> <p>2 働く年長者として</p> <p>3 私の戦い</p> <p>4 見えてきたこと</p>
<p>(評)</p> <p>外国人の子どもや「すたんどばいみー」のスタッフ自身が書いた文章が収録され、日本における外国人の子どもたちに立ちはだかる壁など、生の声を知ることができる。</p>

### (18) 外国人の子どもと日本の教育

外国人の子どもと日本の教育	編者	宮島 喬・太田晴雄
	出版社	東京大学出版会
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・272頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	3,800円+税

#### (内容)

学校に行かない外国人の子どもたちが増えている。学習の機会を剥奪されてしまう、あるいは学校で文化の壁に直面する子どもたちの現実、ニューカマー外国人の置かれている状況や日本の学校制度の問題、支援のあり方などを分析しながら、より多文化に開かれた教育の姿を探る。


#### <構成>

序章 外国人の子どもと日本の学校

I 不就学と子どもたちの教育環境

1章	学校に通わない子どもたち
2章	学校教育システムにおける受容と排除
3章	日本的モノカルチュラリズムと学習困難
4章	家族は子どもの教育にどうかかわるか
5章	日本の学校とエスニック学校
Ⅱ	外国人の子どもの生活世界と学校
6章	「不登校」「不就学」をめぐる意味世界
7章	「中国帰国者」の子どもの生きる世界
8章	子どもたちの教育におけるモデルの不在
Ⅲ	学習サポートと多文化の学校教育に向けて
10章	地域で学習をサポートする
11章	多文化に開かれた教育に向けて
(評)	
外国人の子どもの教育の問題について、さまざまな視点からアプローチしながら、日本の教育のあり方も問い直している。	

### (19) 外国人生徒のためのカリキュラム

外国人生徒のためのカリキュラム	編著	清水睦美・児島明
	出版社	嵯峨野書院
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・270頁
	対象	外国人生徒・学校に関わる人
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 2,730円

#### (内容)

外国人生徒のための授業づくりの実践記録。教師・研究者・ボランティア・通訳・地域の外国人青少年がみずから直面した問題とそれを乗り越えるための試みの数々を綴っている。

#### <構成>

##### 第1部 学校文化と外国人生徒との関係を探る


- ・教育課程に「外国人生徒のための授業」を位置づける。
- ・外国人生徒のためのわかる授業

- ・授業の中での居場所づくり
  - ・学校の中の国際教室
  - ・外国人生徒の変化を通して ほか
- 第2部 外国人生徒のための授業づくりへの参画
- ・立場の異なる人びとの参画
  - ・外国人生徒への取り組みが生徒指導にはたした意味
  - ・外国人生徒との関わりを通して見えてきた教師像 ほか
- 第3部 当事者からみた外国人生徒のためのカリキュラム
- ・「選択国際」と外国人生徒
  - ・外国人の子どもたちとともに
  - ・日本社会に何を期待すればいいのか
  - ・「外国籍の女の子」としての問題を抱えながら

(評)

外国人生徒を取り巻く関係者それぞれの取り組みから、日本の学校文化はどのように変わっていくのかを考えさせられる。

**(20) Welcome to 日本語教室** 外国からきた子どもたちに日本語を教えるボランティア

Welcometo 日本語教室 外国から来た子どもたちに日本語を教えるボランティア	編著	つくばインターナショナルグループ (TIG) 学校部
	出版社	明石書店
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・240頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	1, 800円+税

(内容)

17年間の日本語教室ボランティアでの出会いから、20ヶ国37名の子どもたちを取り上げ、言葉の習得や暮らしの様子を紹介。指導の実践的方法や外国人保護者の感想も収録している。来日外国人児童生徒に関わる全ての人の指針となりうる現場からのレポートである。

<構成>

第1章 日本語教室の子どもたち

ぼく、なにすればいいの？ ティータイムがないのはつらい 花マル大好き  
「だめでしょ」は先生の口まね どうしてもなじめない

コラム6つ

第2章 子どものための日本語指導

- 1 教える前に
- 2 日本語補習
- 3 教え方紹介
- 4 よりよい日本語指導を目指して

コラム

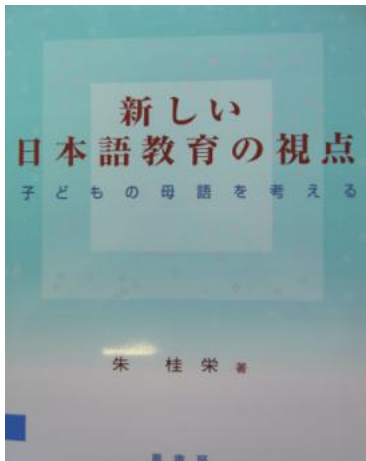
第3章 子どものための日本語ボランティア

- 1 子どものための日本語ボランティア
- 2 日本語ボランティアがしていること
- 3 外国人保護者からの感想
- 4 インタビュー 子どものための日本語ボランティア17年
- 5 つくば市の日本語ボランティア「国立国語研究所 石井恵理子」

(評)

日本語教室での活動の様子や問題点は、子どもに関わる日本語ボランティア活動を始めたい人や現在関わっている人の参考となる。

## (21) 新しい日本語教育の視点 子どもの母語を考える

新しい日本語教育の視点	著者	朱桂栄
	出版社	鳳書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・224頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,500円+税

(内容)

年少者教育の現場でのケーススタディを踏まえ、子どもの日本語学習や教科学習において、母語保障の必要性とその具体的な方法や意義を探る。


<構成>

第1章 言語少数派の子どもをめぐる教育上の問題



第2章	言語少数派の子どもの母語保障に関わる研究
第3章	本書の目的と方法
第4章	母語の読み書き能力を十分に持っている子ども A の場合
第5章	母語の読み書き能力が不十分な子ども R の場合
第6章	言語少数派の子どもの母語保障の方法と意義
(評)	
母語を取り入れた新しい日本語教育法を具体的に提示している。	

## (22) 文化間移動をする子どもたちの学び—教育コミュニティの創造に向けて

文化間移動をする子どもたちの学び	編集	齋藤ひろみ・佐藤郡衛
	出版社	ひつじ書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・286頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2, 800円+税

### (内容)

いわゆるニューカマーと呼ばれる子どもたちへの教育は、当初の学校適応・日本語指導を経て、新たな取り組みが始まっている。学校現場における教科学習を保障するための授業実践や母語・母文化教育、地域における親子の日本語教室、教育行政と学校による高校入試制度の見直しなどである。これらの実践や支援活動の経過と成果を分析し、文化間移動をする子どもたちの教育の課題を再設定するとともに、その解決に向けて教育実践の方向性と枠組みを探る。

### <構成>

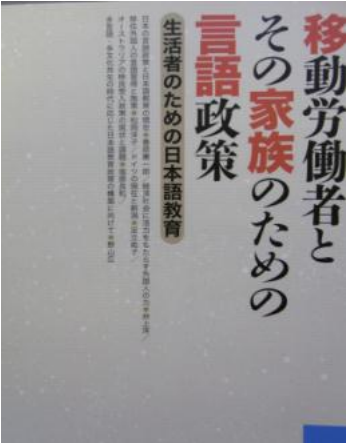
- 第1章 転機にたつ外国人の子どもの教育
- 第2章 成長・発達モデルから見た移動する子どもたちの状況
- 第3章 文化間移動をする子どもたちへの教育の方法
- 第4章 体験・探求・発信する授業
- 第5章 子どもに即した日本語カリキュラムの開発
- 第6章 子どもたちの母語・母文化の教育
- 第7章 高校への進学と学習機会
- 第8章 学習を支えるネットワーク

- 第9章 日本語習得と人材育成の場として
- 第10章 地域で子どもの学習を
- 第11章 文化間移動をする子どもの発達と学校
- 第12章 子どもたちのライフコースと学習支援
- 第13章 学習支援から教育コミュニティの創造へ

(評)

2つ以上の言語文化の間を移動しながら生活する子どもたちへの教育の現状と課題をまとめ、この数年行われてきた教育実践および支援を紹介し、それらをもとに、学校や地域の教育・支援のあり方を論じている。

### (23) 移動労働者とその家族のための言語政策 生活者のための日本語教育

移動労働者とその家族のための言語政策	編集	春原憲一郎
	出版社	ひつじ書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・180頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 1,680円

(内容)

少子高齢化による労働力不足を補うため、外国人労働者の受け入れが進められつつある。これまで、日本語教育は、もっとも先鋭的な現場のひとつとしてこの問題に対峙してきた。本書は、2007年3月に行われたシンポジウムでの研究発表および討論をもとに、ドイツ・韓国・オーストラリアにおける移民に対する言語政策を参照しつつ、現在、そしてこれから日本で生活する外国人のための言語政策・日本語教育のあり方を模索するものである。

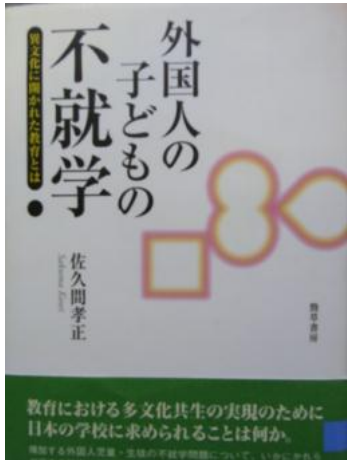
<構成>

- 1 日本の言語政策と日本語教育の現在
- 2 経済社会に活力をもたらす外国人の力
- 3 ドイツの現在と新潟
- 4 オーストラリアの移民受入政策の現状と課題
- 5 多言語・多文化共生の時代に応じた日本語教育政策の構築に向けて

(評)

生活者のための日本語教育を副題として、世界各国の政策をあげながら日本の今後の指針について提起している。

#### (24) 外国人の子どもの不就学

外国人の子どもの不就学	著者	佐久間孝正
	出版社	勁草書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・283頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,400円+税

(内容)

増加する外国人児童・生徒の不就学問題について、いかに彼らが日本の教育から構造的に排除され、また、地域間格差が発生しているのかを自治体の教育施策・制度との関係で論じている。

<構成>

- 序章 近年の外国人の動向と試行錯誤の教育界
- I章 進行する学校の「多文化」化
- II章 深刻化する外国人の子どもの不就学
- III章 ニューカマーはオールドカマーの道をたどるのか
- IV章 公平性欠く外国人児童・生徒の自治体行政
- V章 教育システムの改革に向けて
- VI章 しょうがい者教育と外国人教育
- VII章 グローバリゼーション時代の教育と市民権


(評)

外国人児童生徒の不就学の実態は、なかなか把握できない場合が多い。教育における多文化共生の実現のためにどんなことが求められているかを考える手がかりとなる。


## (25) 海外で育つ子どもの心理と教育

海外で育つ子どもの心理と教育	著者	栗原祐司・森真佐子
	出版社	金子書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・205頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 2,205円
<p>(内容)</p> <p>教育制度の違い、子ども異文化・現地校不適應、言葉や発達の遅れ、学校や家庭での問題行動など、海外に住む日本人の子育ての悩みに心理臨床と教育の専門家が応える。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <p>第1章 アメリカに暮らす日本の子どもたち</p> <p>第2章 異文化での子育て</p> <p>第3章 ストレス・マネージメント</p> <p>第4章 発達障害と査定</p> <p>第5章 補習授業校の子どもたち</p> <p>第6章 帰国に向けて</p>		
<p>(評)</p> <p>日本から海外に行って感じたカルチャーショック、その実態から、海外から日本に来た外国人児童生徒が感じている気持ち等を推し量ることができる。</p>		


## (26) イチからはじめる 外国人の子どもの教育

イチからはじめる 外国人の子どもの教育	編集	臼井智美
	出版社	教育開発研究所
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・207頁
	対象	小中学校教員・管理職 日本語教師
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 2,100円
<p>(内容)</p> <p>日本語がわからない、学習についていけない、学校生活になじめない、友だちができない……。外国人の子どもたちは様々なつまずきを見せます。子どもたちが抱える多様な背景に目を向けながら、教師としてどんな指導や配慮をしたらよいのか、また、日々の指導に役立つ情報はどこで得られるのか、学級担任や日本語指導教室の担当者が丸ががえすることなく、誰とどのように手を取り合っていけばいいのか、学校管理職や教育委員会はそれをどうバックアップしていけばいいのか、その具体策を提示しています。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <p>序 外国人の子どもの教育とは</p> <p>1章 日本の学校に通う外国人の子どもたち</p> <p>2章 外国人の子どもの指導の内容と方法</p> <p>3章 日本語指導教室担当者の役割</p> <p>4章 学級担任の役割</p> <p>5章 外国人の子どもの教育を支えるために</p> <p>6章 外国人の子どもの指導の実際</p> <p>7章 指導の手がかり</p>		
<p>(評)</p> <p>学校現場での指導や支援のあり方を実践を基に具体的に示している。</p>		


(27) 子ども・保護者・地域を変える多文化共生の学校を創る

子ども・保護者・地域を変える 多文化共生の学校を創る	監修	加藤幸次
	編著	愛知県東浦町立石浜西小学校
	出版社	黎明書房
	サイズ・頁	A5判・168頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 2,310円
<p>(内容)</p> <p>全校の約3分の1が、ブラジルを中心とした外国籍児童で占められる石浜西小学校の教師たちの、保護者や地域住民を巻き込んだ学校改革の全容を紹介している。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <p>プロローグ ここは、日本の学校？</p> <p>第1章 増え続ける外国人児童</p> <p>第2章 この子たちが輝く場は？</p> <p>第3章 変わり始めた学校</p> <p>第4章 加速する学校改革・反対する暇もなく</p> <p>第5章 一つの学習が核になり授業が動き出した</p> <p>第6章 違う子どもが見えてきた</p> <p>第7章 学校づくりを支える「教師集団」という思想と技術</p>		
<p>(評)</p> <p>集住地域だけでなく、外国人児童の編入が増えてきている学校が多い。多文化共生を図る上で、参考になる。</p>		

(28) 外国人学校—インターナショナル・スクールから民族学校まで

外国人学校	著者	朴三石
	出版社	中央公論新社
	レベル	
	サイズ・頁	新書版・234頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	800円+税
	<p>(内容)</p> <p>日本には現在、200校以上の外国人学校がある。多国籍の子どもを対象とするインターナショナル・スクール、駐在者の子弟が多いフランス人学校やドイツ人学校、アジア系の朝鮮学校や中華学校、最近増えているブラジル人学校……。由来もカリキュラムも様々だが、どの学校も、身近な異文化の象徴として国際交流の舞台となっている。あまり知られることのない外国人学校の歴史やシステム、授業風景を紹介し、その意義を考える。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <p>序章 注目を浴びる理由</p> <p>第1章 子どもたちの学校生活—日本の学校とどんな違いがあるのか</p> <p>第2章 学校のシステム—システムで異なる点はなにか</p> <p>第3章 日本にあるアジア系の外国人学校—どんな教育ニーズに responding しているのか</p> <p>第4章 日本にある欧米・南米系の外国人学校—多様な諸文化の価値を認める学校</p> <p>第5章 サンモール校から136年の歴史—その始まりと歩みの軌跡</p> <p>第6章 外国人学校の法的位置づけ—なぜ学校理解のキーワードになるのか</p> <p>終章 可能性と展望—多文化共生のシンボルとなる</p>	
<p>(評)</p> <p>単なる学校紹介にとどまらず、日本の行政の法的な扱いの現状・課題にもふれている。</p>		

## (29) 顔の見えない定住化

顔の見えない定住化	著者	梶田孝道・丹野清人・樋口直人
	発行	名古屋大学出版会
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・352頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	4,200円+税

### (内容)

移住のシステムの誕生から「日系ブラジル人問題」発生のメカニズムまで、デカセギをめぐる諸問題を世界的な移民研究の水準で把握、豊かなフィールド調査の成果により、労働・生活家庭の全体像を初めて本格的に解明するとともに、体系的な移民政策形成の重要性を示している。

#### <構成>

序章 デカセギと移民理論

第Ⅰ部 国家・市場・移民ネットワーク

第1章 人の移動と国家の制御

－出入国管理からネーションフードの再定義へ

第2章 企業社会と外国人労働市場の共進化

－移住労働者の包摂過程

第3章 移住システムと移民コミュニティの形成

－移民ネットワーク論からみた移住過程

第Ⅱ部 顔の見えない定住化

第4章 国民国家の境界と日系人カテゴリーの形成

－1990年入管法改正をめぐって

第5章 ブラジルから日本への移住システム

－市場媒介型メカニズムの形成

第6章 人手不足からフレキシブルな労働力へ

－労働市場におけるブラジル人の変化

第7章 労働市場のミクロ分析

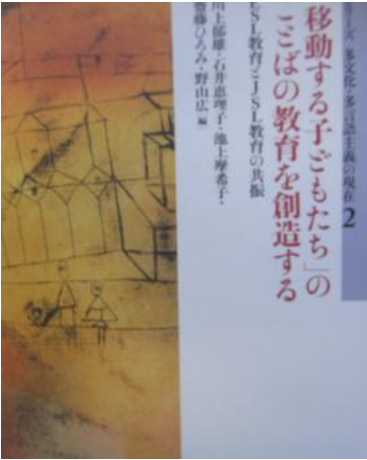
－顔の見えない定住化の進展

第8章 移民コミュニティの形成？



<p>ー社会的ネットワークの再編成をめぐって</p> <p>第Ⅲ部 多文化共生モデルの陥穽</p> <p>第9章 市場と地域社会の相克</p> <p>ー社会問題の発生メカニズム</p>
<p>(評)</p> <p>デカセギや移住の実態を知るにより、外国人児童生徒のおかれている立場などを理解する一助となる。</p>

(30) 「移動する子どもたち」のことばの教育を創造する

「移動する子どもたち」のことばの教育を創造する	編集	川上郁雄
	出版社	ココ出版
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・337頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	2,400円+税

(内容)

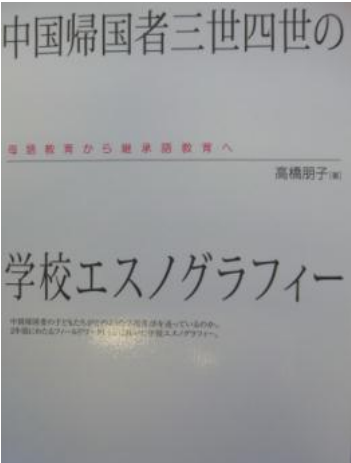
国境を越えて移動する人々が地球規模で増加する中、日本においても「移動する子どもたち」への教育を整備することが、喫緊の課題となっている。多様な背景をもつ子どもたちが、日本社会で疎外されることなく、力強く生きていくための「ことばの力」を育てなければならない。JSL 教育の研究者として最前線でこの課題に取り組んできた編者たちが、オーストラリアにおける ESL 教育の理論と実践、異領域の専門家との対話を通して、新たな「ことばの教育」の理念と方法を模索する。

<構成>

- 第1部 「ESL の子どもたち」のことばの力を育てる
  - 序章 オーストラリアの ESL 教育の流れと論者たち
  - 1章 スキャフォールディングの実践とその意味
  - 2章 ことばのレンズを通して教科学習を考える
  - 3章 オーストラリアの ESL バンドスケール再考
- 第2部 「JSL の子どもたち」のことばの力を育てる
  - 序章 日本の JSL 教育の意義を問い直す

1章	年少者日本語教育の構築に向けて
2章	日本語能力の把握から実践への道すじ
3章	「学習参加のためのことばの力」を育む
4章	年少者日本語教育における実践と研究
第3部	異領域との対話
序章	異領域との対話から生れる気づきと連携
1章	ことばの力とは何か
2章	学校現場からー中国帰国児童に学ぶ
3章	子どものことばの力を育てる 読書コミュニティの実践
4章	教科学習とことばの力 ESLとJSLの場合
5章	JSL 児童生徒の受け入れ・学習支援における制度面での展開
(評)	
外国人児童生徒のことばの力をつけるにはどうしたらよいか、様々な面から提起している。	

### (31) 中国帰国者三世四世の学校エスノグラフィー

中国帰国者三世四世の学校エスノグラフィー	著者	高橋朋子
	出版社	生活書院
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・340頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 3,675円

#### (内容)

中国帰国者の子どもたちがどのような学校生活を送っているのか、2年間にわたるフィールドワークをもとに描いた学校エスノグラフィー。

#### <構成>

- 第I部 小学校を生きる中国帰国児童たち
  - 序章 ニューカマーとしての中国帰国者
  - 第1章 見えない「子どもたちの周辺化」
  - 第2章 日本語教室での子どもたち
  - 第3章 中国語教室での子どもたち

第4章 子どもたちの学力 第5章 親子の希薄なコミュニケーション 第6章 中国帰国の子どもたちを支える視点 第Ⅱ部 ニューカマーの子どもたちの研究への視座 第7章 ニューカマーの子どもたちをどう視るか 第8章 子どもたちの言語能力を考える
(評) ニューカマーとしての中国帰国者(中国人児童)の実態から、これからの課題が提起されている。

(32) 初級を教える人のための日本語文法ハンドブック

初級を教える人のための日本語文法ハンドブック	監修	松岡 弘
	著者	庵 功雄、高梨信乃 中西久実子、山田敏弘
	出版社	スリーエーネットワーク
	レベル	初級
	サイズ・頁	A5判・443頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	中上級
	価格	税込 2,310円

(内容)

初級レベルで取り扱われる文法項目を広く取り上げて分類し、各項目を「これだけは」「もう少し」「もう一歩進んでみると」の3段階で簡潔、かつ平易に解説している。また、最新の日本語研究の成果をふまえながら、それらを日本語文法全体の視野の中で記述している。

<構成>


第Ⅰ部

指示詞・疑問詞(コソアド)、格助詞、名詞と名詞を結ぶ助詞、存在・所有、時間、変化、可能、引用、自動詞と他動詞、授受、～ていく・～てくる、判断、意志・願望、命令・依頼・勧誘、義務・勧め・許可・禁止、終助詞、比較、修飾、理由・目的、条件、逆接、とりたて助詞、比較、埋め込み表現、名詞修飾、「～て」・付帯条件・並列、「は」と「が」、疑問文の種類と文末形式、敬語、文体、語順・省略など

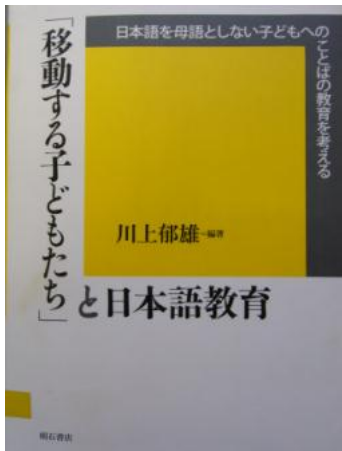
第Ⅱ部

品詞、活用、名詞（文）、動詞、形容詞、副詞、数量詞、接辞など
（評） 普段、文法をあまり気にせず日本語を使っているのに、いざ指導するとなると戸惑ってしまうことがある。指導する前に確認しておくとうい。

### （33）マイノリティーの名前はどのように扱われているのか

マイノリティーの名前はどのように扱われているか	著者	リリアン・テルミ・ハタノ
	出版社	ひつじ書房
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・260頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	3, 200円+税
<p>（内容）</p> <p>日本の公立学校でブラジル人・ペルー人の子どもたちの名前はどうか扱われ、日本での暮らしは彼・彼女たちの「命名」にどんな影響を与えているのか。在日韓国・朝鮮人を苦悩させてきた問題がニューカマーにも生じている。在日外国人支援の市民活動に長年参加してきたブラジル人研究者たちによるフィールド調査報告を中心にまとめ、外国籍・異文化背景の子どもたちを取り巻く諸問題の解決を目指している。名前をキーワードに、日本の公教育と日本社会の現状をあぶりだし、今後進むべき道を提案している。</p> <p>&lt;構成&gt;</p> <p>第1部 マイノリティーの名前の扱いー日本の公立学校におけるニューカマーの子どもたちの名前（マイノリティーの名前とは）  マイノリティーの名前をめぐる研究の枠組み  在日エスニック・マイノリティーの概観  名付けに関する習慣と背景  ブラジル人・ペルー人の子どもたちの学校内での名前</p> <p>第2部 日本で出生登録がされたブラジル人の名前（2005-2007）の分析</p> <p>（評）  名前の書き方、読み方等、今後どうしたらよいか考えていかなければならない問題である。</p>		

### (34) 移動する子どもたちと日本語教育

	編著	川上郁雄
	出版社	明石書店
	レベル	
	サイズ・頁	A5判・304頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	3,300円+税

#### (内容)

国際化に伴い、地域・言語間を移動する子どもたち。彼らの「考える力」「生きる力」としての言語能力の育成をどのように確保するのか。JSLバンドスケールをもとにその方法論、そして日々の実践を紹介している。

#### <構成>

#### 第1部 「移動する子どもたち」への言語教育を考える

- 第1章 年少者に対する日本語教育の課題
- 第2章 年少者日本語教育実践の観点
- 第3章 「JSLバンドスケール」の考え方と方法論

#### 第2部 「移動する子どもたち」への日本語教育実践

- 第4章 「定住型児童」の対話と協働学習による「読む力」の育成
  - 第5章 JSL児童の「読む」力と「自己有能感」の育成を目指した日本語教育支援
  - 第6章 日本語力の伸長を視野に入れた漢字指導を目指して
  - 第7章 母語を活かした日本語指導
  - 第8章 JSL生徒の多様なリテラシーと日本語能力をどう捉えるか
  - 第9章 年少者日本語教育におけるスキャフォールディングの意味
  - 第10章 「JSLバンドスケール」を使った在籍クラスと日本語指導の連携による教科指導
  - 第11章 実践共同体形成と児童の学び
  - 第12章 「JSLバンドスケール」をどう使うか
  - 第13章 ことばの力を育てる「わにっ子ワンデイキャンプ」
- 第3部 年少者日本語教育をめざす人々のために

#### (評)

JSL バンドスケールの方法、日本語指導の実践例は、これから指導する子どもたちへの指導の参考になる。

### (35) 私も「移動する子ども」だった

私も「移動する子ども」だった	編著	川上郁雄
	出版社	くろしお出版
	レベル	
	サイズ・頁	四六判・224頁
	対象	
	母語対応	
	関連教材等	
	価格	税込 1,470円

#### (内容)

国際化に伴い、日本でもその数が急増している「移動」する（国境を越えて育つ・複数の言語の中で育つ）子どもたち。現在各方面で活躍する「移動する子ども」だった大人達が、自身の心の軌跡を惜しみなく語る対談集。

#### <構成>

第1部 幼少の頃、日本国外で暮らし、日本に来た「移動する子どもたち」

#### ○セインカミュ

「外人」呼ばれて、外人訛りのない日本語で返そうと思った

#### ○一青妙

台湾で中国語を話し、自分は台湾人と思っていた

#### ○華恵

ニューヨークで英語の本をよみふけていた

#### ○白倉キッサイダー

長野に着いたとき「タイ語、禁止」と言われた

#### ○響彬斗・響一真

ブラジルで日本舞踊、和太鼓、三味線、歌を習っていた

第2部 幼少の頃から日本で暮らし、複数の言語の中で成長した「移動する子どもたち」

#### ○コウケンテツ

大阪で生まれ、大人が韓国語混じりの日本語を話すのを不思議に思った

○フィフィ

名古屋で育ち、アラビア語を話さなくなった。

○長谷川アーリアジャスール

埼玉で生まれ、イラン語を「使えないハーフ」と語った

○NAM

神戸で生まれ、「ベトナム語は話さんといて」と親に言った

(評)

10人の移動する子どもだった方々の生き方・気持ちが伝わってくる。複数の言語との接触が同時に複数の「生き方」との接触だったと教えてくれる。